

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2020』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦　・ p. 13～17→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 40～43→社会福祉士　演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 44～46→精神保健福祉士　演習・実習科目関連締切等

西日本における大雨により被災された皆様へ

九州、東海、甲信など西日本での大雨にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

教科書・副教材（『学習の手引き』、レポート提出台紙など）に破損や流失などの被害を受けられた方には無料で再交付をいたします。また、被災により配慮等を希望される場合は通信教育部へご相談ください。

新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大学の方針により、8/31までのスクーリングおよび科目修了試験等について会場での実施を中止となっています。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、事情をご賢察のうえご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細は、下記にお知らせいたしますので、ご一読ください。

なお、ご不明な点は、通信教育部事務室までお問い合わせください。

会場でのスクーリング・科目修了試験は、非常に困難な状況にあることをご理解いただきたく、お願い申し上げます。

下記は7/8現在のもので、今後の状況により随時変更となる可能性があります。急な変更や9月以降のスクーリング等も含め、最新情報は本学通信教育部ホームページでお知らせいたします。

◆8/31まで、会場で行うスクーリング・科目修了試験などを中止

※科目修了試験は9月も会場実施は中止となります。

◆中止となったスクーリングの申込はすべて無効

- ・該当スクーリングのこれまでの申込みは、取り消しさせていただきます。
- ・代替スクーリングの申込みに、振り替えることはできません。

◆納入済みのスクーリング受講料は全額返金

- ・返金の手続きは、『With』または『学習の手引き』巻末の「スクーリング受講科目取消確認書」に必要事項を記入し、本学通信教育部事務室にお送りください。
- ・該当スクーリング受講料は、手数料を引かずに全額ご返金いたします。
- ・該当スクーリング受講料を代替スクーリング受講料に、振り替えることはできません。

◆中止のスクーリング・科目修了試験等およびその代替方法

- ・本冊子3・4部をご参照ください。
- ・オンデマンド・スクーリングの申し込み等については、本冊子5部をご覧ください。

◆社会福祉士・精神保健福祉士の実習について

今年度実習を予定されている方は、ご不安な日々をお過ごしのことと推察いたします。実習は国家試験の受験資格に係わるため、引き続き実習の指導教員を含めて慎重に検討を重ねております。

ご案内できることがございましたら、実習係より随時ご連絡いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

◆仙台駅東口キャンパスの入構禁止および電話対応時間の短縮等について

皆様からのお問い合わせに対して次のとおり対応させていただきます。

また、限られた人数の出勤者で対応いたしますので、回答にお時間をいただく場合がございます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

●仙台駅東口キャンパス入構禁止

(期間) 4 / 4 ~ 7 / 31 (延長) ※今後延長される可能性があります。最新情報は本学通信教育部HPでご確認ください。

●電話等対応時間 10:00~17:00 ※水曜日は休業

●ご協力をお願い

- ・レポートの提出、各種証明書の申込等は、郵送にてお願いいたします。
- ・ご質問、ご相談については、電話・E-mail・FAX・郵送での対応にご協力ください。

注) 図書館(国見キャンパス)等については、本学図書館ホームページ(<https://www.tfu.ac.jp/libr/>)でご確認ください。

2020年度にあたって

教員 MESSAGE

新入学生のみなさまへ

通信教育部副部長・准教授 佐藤 俊人

新入学生のみなさま、ご入学おめでとうございます。そして在学生のみなさまはこの落ち着かない状況の中、環境に適応しながら学習に集中できていますでしょうか。

さて、最近、ダーウィンの進化論が引用されてネットなどで議論がなされている事項があります。政治的な問題を含みますのでここでは詳しい解説は控えますが、結局は「引用元がダーウィン自身のことばではなく、それを政治に使えるように都合よく言い換えた人のことばである」というところに問題が集約されるのだらうと思います。興味のある方は「もやウィン」で検索してみるといろいろ興味深い情報が出てくると思います。

もちろん情報の発信者は正しく引用することは重要です。しかし、ここで気をつけなければならないのは、誤用したり、都合よく言い換えたりする人たちがばかりが悪いわけではなく、それを受け取る私たち自身の考え方も重要だということです。

つまり、私たちには「学問的にそうなのだ」という記述をみると、それが真実であるなしに関係なく「そうかもしれない……」と感じてしまうという傾向があります。その記述が専門用語で組み合わされているような記述であれば、内容がよく分からなくとも、なんとなく「ありがたい記述」に思えてくるかもしれません。具体的にはテキストや参考書に書いてあることは真実であり、教員が講義で話すことも真実である「はずだ」という先入観もそうですし、心理学で実験や調査を経て得られたデータを「統計学的に」分析～検定してあれば「それが間違いない真実であり、その知見は一人ひとりにも当てはまる」と感じてしまうこともこれに当てはまります。それによって、これまでたくさんの「都市伝説のような情報」が広

まってきたのも事実です。

ですから、私たちはテキストの内容をよく消化しながら理解すると同時に、頭のどこかで常に「それは本当だろうか」という疑問をもちながら研究を進めることが重要です。そして論文やレポートを記述する際には、正しく引用を明記することが求められるわけです。それにより、情報を発信する立場として引用の誤用をなくし、情報を受け取る立場として冷静に理解するという学問に向き合う姿勢が得られると思います。

大学の講義では、教員が変われば同じ理論や事実を全く違った価値観で伝えられることも多いものです。例えば「アヴェロンの野生児」という有名な事例についても、「環境や教育の重要性を明らかにしてくれる事例である」という立場もあれば「生まれた直後に人間社会から隔離されて一人で生き残れるはずはない。この子は数年間は人間の環境で育ってきたはずだ。であれば環境以外の何らかの要因があるはずだ」という立場もあるわけです。表現は悪いですが、それぞれ教員の専門とする学問上「都合のよい解釈」かもしれません。

今となっては確かめようもない議論ではありますが、皆さんはそのような複数の立場の情報を同時に得ることができるわけですから、複数の価値観に触れ、様々な情報を積極的に集めることによって自分の立場や考察を決めていくことができると思います。それが研究の面白さの一つです。

さて、誤用すると炎上が怖いので進化論には絡めませんが、「唯一生き残れるのは変化できるものである」こと自体は「生き残り」を大きく捉えれば重要なことかもしれません。超アナログ人間の私も、環境が変わったおかげで初めてMEETやらZOOMやらを使えるようになりました。パソコンに向かって「一人講義動画」を撮影し、「クラウドにアップした動画ファイルに共有設定をしてリンクを貼る???'という、半年前であれば「チョット、ナニイッテルカワカラナイ……」と頭がクラクラしそうな作業もなんとかできるようになりました。もちろん私には独学では無理です

ので、周りの教職員の方から様々な情報ももらい（否、かなり迷惑をかけて）、試行錯誤しながら自分に合った方法を見つけ出しつつあります。どうやら、この環境の中で教員として生き残るためには、周囲からの様々な情報を取捨選択しながら私自身が変化しなければならなかったようです。心理学ではそのような個人の変化を適応、適応して個人の考え方や行動パターンが変化していくことを発達、学習と表現します。

今後みなさんの環境が人生レベルでどのように変化していくかは一人ひとり違うはずです。どのような適応をすべきか、という全員に当てはまる正解はありません。環境の変化に適応しながら「自分らしく」学習、発達をしていくために様々な考え方や価値観に触れ、最後にはそれを自分の知見として統合する、そんな研究活動にしていきたいと思います。